

根城小学校の環境教育NO. 1

- 1 単元名：地球にやさしい食えらび
- 2 対象学年：5年生
- 3 ねらい：身近な食べ物である小麦の産地を調べる活動を通して地球温暖化に興味をもたせる。
- 4 単元指導計画

パンは何からできてるの？（4）

- ・アースレンジャーの方のお話を聞く。
- ・パンの外袋の原材料表示をもとにパンは何からできているかを調べる。

(ワークシート①パンの材料を調べよう)

- ・小麦の産地と小麦を使ってつくる食品名を調べる。(ワークシート②「世界の小麦食品マップ」)

★オリエンテーションの時のゲストティーチャーの話から、自分たちの興味を持った内容について確認する。

栄養士の先生から話を聞こう（2）

- ・調べ活動で分からないことなどを明らかにし、質問する。
- ・質問して分かった事をまとめる。

★地産地消について・給食の材料の産地について話を聞く。

小麦の旅（15）

- ・課題を決めて調べ、報告会用のプレゼンを作る。
- ・パンはどんな道で運ばれてくるのかを調べる。
- ・日本の輸入している小麦の産地を調べる。
- ・いろいろな食材の輸送距離とかかる日数を調べる。
- ・船を動かすには、どんな資源をどれくらい使うのかを調べる。(フードマイルなど)
- ・輸送手段によるCO₂の排出量を調べる。

★分からない事に関しては、ゲストティーチャーに質問する [電話・f a x・手紙など]

小麦の旅報告会（4）

- ・ゲストティーチャーをお迎えして小麦の旅の報告会をする。

2時間目（ 9：25～10：10）5年1組

3時間目（10：30～11：15）5年2組

4時間目（11：25～12：10）5年3組

各教室でのプレゼンの様子をアースレンジャーの方に見ていただき、質問に答えていただいた。

- ・日本で作られた食材を使ってひつつみをつくり、これまでの学習を振り返る。



根城小学校の環境教育 NO.2

- 1 単元名: ストップ・ザ・地球温暖化
- 2 対象学年: 6年生
- 3 概要:

省エネルギーセンター主催の「省エネ教室」を活用しての授業。

5年生の学習で、八戸市の地球温暖化対策について調べたことをもとに活動を考え実践に取り組んだ。

★地球温暖化が進む世界・日本・八戸市・私たちの生活についての調査活動

子供たちの活動が中心となるため、生活の中で手軽に取り組める地球温暖化対策について様々な工夫を紹介した。

★学級での継続的な取り組みは、以下の3つ。

- ① 残菜ゼロ活動(給食の食べ残しをなくする活動)
- ② よくきり活動(無駄な電気・コンセントを抜く活動)
- ③ こてひねり活動(水道の蛇口をこまめに閉める活動)

家庭と学級で連携しながら活動を行った。また、地域へ広報誌を配ったり、PR活動などをしたりしてどんどん活動をひろめた。ここで学習したことが、子供たちが成長し、大人になったときにも続いていくように願って活動を進めた。

学校教育での環境教育(特に地球温暖化防止対策について学習すること)は非常に大切な学習活動であり、生涯教育につながると考えている。地球温暖化防止対策の中でも、自分たちの普段の生活の中で手軽に取り組める実践活動を行ってきた。そこで、「誰でも参加できる地球温暖化防止対策のための活動」を目指してどんどん取り組みの環を広げた。また、作成しているプレゼンテーションを発表していくことで、活動する仲間をどんどん増やしていければと願いながら、活動を行った。



4 単元指導計画

地球温暖化ってなあに？(4)

●専門家から話を聞こう

地球温暖化の状況についてのお話

地球温暖化模型を使つての実験活動1

地球温暖化と省エネルギーの関係についてのお話

火力発電所模型を使つての実験活動2

●専門家から話を聞こう2

エコを意識した買い物ゲーム

選んだ理由の発表

みんなで発電実験機と省エネミニチュアハウス模型の見学

自分たちでできること(15)

●課題を決めて調べる

(調べた内容については、別紙参照)

自分たちでできること報告会(4)

これまで体験したこと学習したことをまとめたものを発表する。

ゲストティーチャーをお迎えして

